

北東アジアにおけるハブ空港の動向

- 仁川国際空港(IIA)の現状と展望 -

The Trend of the Hub Airport in Northeast Asia

- The Present Situation and the Prospects of Incheon International Airport (IIA) -

金子義勝*・合川聖二郎**・深海正彦***

KANEKO Yoshikatsu, AIKAWA Seijiro and FUKAMI Masahiko

* (財)沿岸技術研究センター 調査部 研究員

** 前 (財)沿岸技術研究センター 企画部 主任研究員

*** (財)沿岸技術研究センター 研究主幹兼企画部長

Korea / Incheon International Airport (IIA) opened in March 2001 is the international airport which Korean can boast to the world. In this report, the authors study the airport improvement plan as a Hub Airport in Northeast Asia to be able to put in Japan by investigating the present conditions and the prospects of IIA.

Key Words : Incheon International Airport, Hub Airport, Northeast Asia

概要

国際化の時代である 21 世紀に入り、ヒト・モノ・カネ・情報に代表される産業資源が国家という枠組みを超えてより一層流通の度合いを増してきている。そのような時代情勢を背景に、各国の物流拠点として位置する港湾・空港インフラ施設の重要性が、改めて各国で認識され始めてきている現状がある。特に我が国は環太平洋地域に位置しており、なおかつ四方を海で囲まれた島国であるので、その特性を生かすべく港湾・空港インフラ施設における輸送・運搬システムの拡充、サービス機能の強化といった総合的な再整備の必要性が国内外より強く求められている。

加えて、アジアにおける経済発展は著しく、世界の物流市場に占めるアジアの比重は年々高まってきており、アジア諸国は国際競争力を強化するために港湾や空港の拡張事業計画を積極的に進めている。

そのような状況を受け、2004 年 8 月に韓国の港湾・空港施設の現地視察を行い、北東アジアにおける物流拠点の動向を探るべく海外調査を行った。その調査では、釜山港、釜山新港、仁川港といった、韓国の代表的な港湾の調査と併せ、開港後約 4 年半が経過した仁川国際空港(IIA)の整備・運営・管理状況などを調査した。

IIA は韓国の仁川広域市永宗島に 2001 年 3 月 29 日に開港した国際空港である。そして現在に至るまで特に大きな問題も無く、これからの北東アジアのハブ空港となるべく、着々と歩を進めている。

本稿では、北東アジアにおけるハブ空港の動向として IIA の現状と展望について調査し、日本の国際空港に必要と考えられる項目を整理した。



IIA 位置図



IIA 鳥瞰図